

平成30年3・4月合併号掲載

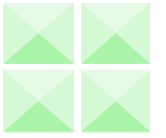
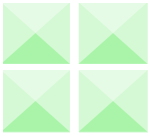
男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q40 「“おとう飯” 始めよう」キャンペーンはじまる。と最近よく聞くのですがどんなことでしょうか。

A40 総務省が行った「23年社会生活基本調査」の結果では、6歳未満の子供を持つ夫の週全体平均の1日当たりの家事・育児等に費やす時間（1日当り）は、67分と他の先進国と比較して低水準にとどまっています。この時間を平成32年（2020年）までに150分にするという数値目標が掲げられています。

そのような中、男性の家事参加、なかでも料理への参加を応援する「“おとう飯” 始めよう」キャンペーンがスタートしました。簡単で手間を掛けず、多少見た目が悪くても美味しい料理「おとう飯」により、料理のハードルを下げ料理参画の第一歩にしてもらおうという目的です。

内閣府で、大使任命式を行い飲食店での調理経験が豊富な方を任命し、大臣から「おとう飯」ロゴの入ったエプロンが手渡され、「おとう飯大使」を引受けてもらいました。レシピも考案され、「鶏もも肉の旨煮」をその場で調理、簡単で美味しい「おとう飯」が出来上がりました。「たまに男性が料理すると、高級食材やその時にしか使わない調味料を購入してしまって困る」「料理を作って後片付けはほったらかし、やるなら最後までやって欲しい」という声を耳にします。一方で、「折角、家族のために料理したのに文句を言われて作る気をなくした」という話も聞きます。家族みんなが気持ちよく「おとう飯」を楽しむことが大切です。



是非、皆さんも男性の家事・育児等への参加促進、なかでも料理への参加を後押しするにあたっては「おとう飯」をご活用下さい。

「おとう飯キャンペーン」ホームページ

<http://www.gender.go.jp/public/otouhan/>

出所 男女共同参画局 内閣府 9月号

